

○奈良教育長 教育委員会協議会を開会いたします。

まず、教育委員会の活動状況について、事務局から報告をお願いします。

山下教育政策課長。

○山下教育政策課長 それでは、教育委員会の活動状況についてご説明させていただきます。

教育委員会の活動状況、令和3年4月分をご覧ください。

表にございますとおり、左からご活動の日時、会議、行事等、場所、出席者を記載しており、上段の4月2日の臨時校園長会をはじめ、4月中の活動内容を記載しております。詳細につきましては、資料のとおりでございます。

以上、簡単ではございますが、ご説明とさせていただきます。

○奈良教育長 それでは、事務局からの報告案件ですが、案件1について説明をお願いします。

山下教育政策課長。

○山下教育政策課長 それでは、案件1「枚方市教育委員会の主要事業の概要及び進捗状況」につきまして、ご説明いたします。

協議会資料の1ページをご覧ください。

まず、「1. 概要」につきましては、枚方市教育委員会の主要事業の令和3年度の概要及び令和2年度（令和3年3月31日時点）の進捗状況について、別紙のとおり、とりまとめましたので、ご報告するものでございます。

本資料につきましては、毎年度この時期に、「新年度における取り組み概要」をお示ししてきたところでございますが、これまで委員の皆さまから、事業の実績や進捗状況の報告を受ける機会をより確保していくことについてご意見をいただいていたことを踏まえまして、今年度からは、年度当初に、併せて「前年度の事業の進捗状況」についてもご報告させていただくことといたしました。

続きまして、「2. 内容」でございますが、恐れ入りますが、まず、別紙1「主要事業一覧」をご覧ください。

こちらには、枚方市教育振興基本計画の10の基本方策ごとに、具体化を図るための主要事業の一覧をお示ししております。

主要事業につきましては、教育振興基本計画の基本方策に掲げる取り組みの方向に該当する事業の中から、第5次枚方市総合計画や、市政運営方針等の市長公約に掲げている重点事業などを中心に設定しております。

また、表中の右の「備考」欄に、令和3年度からの新規事業、また、令和2年度で終了した事業などがわかるようにお示ししております。

続きまして、別紙2「主要事業の令和3年度の概要・令和2年度の進捗状況」をご覧ください。

まず、資料の見方・構成をご説明させていただきます。

1ページ目をご覧くださいと、10の基本方策ごとに、教育振興基本計画で示す「取り組みの方向」を記載し、2ページ目には、取り組みの方向に該当する「主要事業の概要・実績」の表を掲載しております。

各表の上段から、「事業番号」、右に、「事業の名称」、「担当課」、令和3年度の「事業予算額」、その下、左の欄は、当事業の取り組み「概要」、その右には、「令和3年3月31日時点の進捗状況」をお示ししており、その下には、「関連計画」を掲載しております。

それでは、新規事業などを含めまして、主だったいくつかの事業につきまして、ご説明させていただきます。

7ページをご覧ください。

下段の「2-⑤ 学校水泳授業民間活用事業」でございますが、本事業は、今年度から主要事業として追加した項目でございます。

事業の「概要」でございますが、児童の泳力向上や、水泳授業における教員への支援、また、老朽化する学校プールの維持管理・改修等の縮減を目的に、委託により民間施設を活用して、学校水泳授業を実施するものでございます。

令和3年度は、モデルとして山田小学校において実施する予定ですが、現在の新型コロナウイルスの感染状況を十分に見極めながら判断していく予定でございます。

次に13ページにとびまして、「3-① 枚方市教職員育成事業」をご覧ください。

右側の欄の「令和3年3月31日時点の進捗状況」の中で、最後の項目に記載しておりますが、特に、昨年度は、国のGIGAスクール構想の前倒しを受け、児童生徒へのタブレット配付も踏まえ、本市では各校の代表者や指導主事等で構成する情報教育推進ワーキングチームメンバーを6月に発足しました。その中で、ICT活用を先進的に進めることができるよう検討を進め、対外的にも、本市の取組を発信したものでございます。

令和3年度におきましても、新たなメンバーを募集し、ICT機器の効果的な活用をめざした研究を市内全小中学校と教育委員会が一体となって実施していく予定でございます。

次に19ページですが、「6-① コミュニティ・スクール推進事業」をご覧ください。

保護者や地域住民等から構成され学校運営に関して協議するコミュニティ・スクールにつきまして、右側の「進捗状況」欄に記載しておりますが、前年度までに設置した27校に加え、新たに18校において学校運営協議会を設置し、全45小学校がコミュニティ・スクールとなりました。

今後、引き続き、コミュニティ・スクールの実践事例の発信等を行いながら、「地域とともにある学校づくり」を推進していく予定でございます。

次に28ページですが、「8-⑧ 樟葉西小学校給食調理場改修事業」をご覧ください。

本事業は、令和3年度の新規事業として追加したものでございます。

左側の「事業の概要」欄をご覧ください。

単独調理場の老朽化対策とドライシステムの導入が喫緊の課題であることから、最も古い単独調理場の1つである「樟葉西小学校」の調理場について、ドライシステム調理場として整備するものでございます。

今後の予定としまして、今年度に設計委託を開始し、令和4年度から工事開始、令和5年度に供用開始の予定で進めてまいります。

次に32ページですが、下段の「9-⑩ 電子図書館運営事業」をご覧ください。

本事業も、令和3年度の新規事業でございます。

左側の「事業の概要」欄をご覧ください。

本事業は、電子図書館システムの導入により、コロナ禍以後の生活様式に対応した非来館型サービスを提供するものでございます。

2つ目の項目にありますとおり、視覚障害者等への読み上げ機能を備えたサービスの提供のほか、3つ目の項目では、市内全児童・生徒に貸与されたタブレットによる電子書籍を活用した教育の支援などを記載しております。

また、4つ目の項目では、今後のスケジュールとしまして、本年7月を目処に電子書籍の貸し出しを開始することを記載しており、今後、市民が自宅や出先から24時間いつでも電子書籍を活用できるよう、利便性の向上を図ってまいります。

最後に、37ページですが、「10-⑩ 総合型放課後事業（放課後キッズクラブ）」をご覧ください。

左側の「事業の概要」欄をご覧ください。

子どもにとって望ましい「放課後」を実現していくために、「児童の放課後を豊かにする基本計画」を踏まえ、本市の実情に即した児童の総合的な放課後対策の計画的な整備を行うものでございます。

2つ目の項目に記載しておりますが、令和3年度においては、「放課後キッズクラブ」を土曜日及び、三季休業期の実施で、小学校4校（直営2校、委託2校）に先行導入しております。今後、その検証結果等を踏まえ、全小学校への平日を含む本格導入に向けた検討を行ってまいります。

それでは、恐れ入りますが、協議会資料の2ページにお戻りください。

「3. 今後の予定」でございますが、令和2年度の主要事業の実績につきましては、これまでと同様に、教育委員会委員に皆さまをはじめ、学識経験者の意見を踏まえながら「点検評価」に取り組み、令和3年8月を目途に報告書をまとめてまいります。

また、令和3年度の主要事業の取り組みにつきましては、改めまして、令和3年9月30日時点の進捗状況について、令和3年11月の教育委員会協議会で報告する予定でございます。

今後、主要事業を含めまして、教育委員会の事業について、引き続き、目標達成に向けた取り組みを進めてまいります。

以上、簡単ではございますが、案件1の説明とさせていただきます。

○奈良教育長 ただいまご説明いただきました案件1について、ご意見、ご質問等ありますか。
谷元委員。

○谷元委員 「基本方策1」ですが、4ページの「1-⑥ 英語教育推進事業」について、「英語外部検定試験を令和3年1月に実施し、結果分析をもとに授業改善、個に応じた指導に活用した」とありますが、どの様な結果だったのか簡単に教えてください。

○奈良教育長 嶋田学校教育室課長。

○嶋田学校教育室課長 枚方市全体の結果は、令和元年度結果と比較すると、4技能のうち、「リーディング」、「リスニング」、「ライティング」で全体的には向上がみられ、一方で「スピーキング」は下降が見られました。

各学校では、提供されている分析結果から、生徒の学習状況を把握し、授業改善に活用しています。

○奈良教育長 谷元委員。

○谷元委員 もう一点、「基本方策7」ですが、24ページの「7-⑩ 不登校児童・生徒支援事業」について、令和2年度不登校により、30日以上欠席があった児童・生徒の人数を、前年度と比較して教えてください。

また、そのうち、枚方市適応指導教室「ルポ」に入室した人数を教えてください。

○奈良教育長 齋藤教育支援室課長。

○齋藤教育支援室課長 令和2年度に30日以上欠席があった児童・生徒については、小学校で令和元年度は163人から216人となり、53人増加、また、中学校で令和元年度は461人から482人となり、21人増加しました。

枚方市適応指導教室「ルポ」においては、不登校状態にある小学校6人、中学校30人、合計36人が登録し、学習活動やグループ活動を通じた社会的な自立のための支援と指導を行いました。

○奈良教育長 谷元委員。

○谷元委員 意見ですけれども、英語外部検定試験については、課題のあった「スピーキング」について、授業中に英語でプレゼンをしたり、一人一台のタブレットを活用したスピーキングの試験を実施したりする等、授業改善に活かすよう、教育委員会から指導と支援をよろしくお願いします。

不登校児童・生徒の人数につきましては、小学校・中学校ともに増加したようです。昨年度のコロナ禍による影響も少なからずあったかと思いますが、不登校の子どもたちに寄り添った支援を今後ともよろしく願いいたします。

令和3年度は、「学校水泳授業民間活用事業」をはじめ、5つの新規事業が主要事業としてあがっています。目標達成に向け、進捗状況をしっかりと管理していただきますよう、お願いしておきます。

昨年度は、GIGAスクール構想の前倒しにより、児童・生徒一人一台のタブレット端末の配備が2月に完了しました。「学校ICT機器等整備業務」の「事業費（予算額）」は、昨年度は約2億5,300万円、令和3年度は約7億8,570万円と、3倍以上の額になっています。

ハード面の充実とともに、今後はソフト面の充実が課題であると思います。タブレットの活用は、授業での効果的な活用だけでなく、家庭学習、教職員の業務改善、生徒指導や不登校児童・生徒への支援、子どもたちの安全対策への活用など、ますます重要な役割を果たすと思われます。

箕面市では、AIを活用し、教室にカメラとマイク内臓センサーを設置して、授業中の子どもの反応や発話量を可視化したり、クラウドを活用した業務の効率化をはかる方法を検討していると聞きました。

また、小学校1年生から中学校3年生まで、子どもステップアップ調査を実施し、調査データをもとに、児童の学力の経年変化を追うことで、教員の指導力や、適正把握に取り組んでいると聞いています。

枚方市でも、一人一台のタブレットを活用し、活用したデータを客観的に把握し、エビデンスに基づいた授業改善や教員の指導力向上、家庭学習、生徒指導など、タブレットを活用して得られたビッグデータをどう活用するのか、しっかりと考察する必要があると考えます。

ビッグデータの活用については、専門的な知識と、専門のアプリやソフトが必要になって

くと思います。ICT推進グループを中心に、専門的な知見を持ったプロの方に指導を受けることも考え、検討していただければと思いますので、よろしく願いいたします。

○奈良教育長 ほかにご意見、ご質問等はありませんか。

中西委員。

○中西委員 「基本方策2」の「⑤学校水泳授業民間活用事業」ですけれども、「進捗状況」に「民間事業者(10社)にヒアリング調査を実施した」とありますが、その10社の意見・回答がどのようなものであった教えてください。また、学校水泳の民間委託については、今後、どのように学校数を増やしていくお考えなのか、お聞かせください。

○奈良教育長 山下教育政策課長。

○山下課長 まず一点目、民間事業者のヒアリングですけれども、昨年度、10社に対してヒアリング調査を行いました。今回の事業の概要をお伝えしたところ、一定、多くの事業者がこのことについて積極的なお答えをいただいているところでございます。

もう一点、次年度以降の事業の進め方についてですが、今後、民間の活用も含めて、モデル事業できっちりと効果検証しながら、今後の取組計画を作成していきたいと考えております。

○奈良教育長 ほかにご意見、ご質問等はありませんか。

本件に対するご意見、ご質問は、この程度にとどめます。

続きまして、案件2について説明をお願いします。

畑中新しい学校推進室課長。

○畑中新しい学校推進室課長 それでは、案件2「新しい学校づくりについて」について、説明させていただきます。

「1. 政策等の背景・目的及び効果」につきましては、平成29年6月に策定した「枚方市学校規模等適正化基本方針【改訂版】」に基づき、高陵小学校と中宮北小学校の学校統合の取り組みを進めるための「枚方市学校規模等適正化実施プラン」を令和3年3月に教育委員会において策定しました。

このプランに基づき、令和4年4月に統合を行うとともに、令和8年度の高陵小学校敷地での新校の開校を目指して取り組みを進めています。4月には保護者、地域、学校及び教育委員会等で構成する「新しい学校づくり協議会」を設置し、新しい学校づくりに向けた諸課題の整理や、取り組みに関する協議を行なっているところです。

今年度は、本市の学校づくりの指針となる「枚方市のめざす学校像」を作成した後、統合校の新たな教育の推進モデルとなる「高陵・中宮北小学校の統合による新しい学校づくり」を作成するとともに、新しい学校名を決定する予定です。

4ページをご覧ください。

「2. 内容」としましては、(1)から(4)の4点をあげております。

まず「(1)枚方市のめざす学校像」につきまして、枚方市教育委員会では、これまで「枚方市教育振興基本計画」に基づいて、「Hirakata授業スタンダード(第2ステージ)」や「枚方版ICT教育モデル」など、個別の計画や方針を作成し学校教育を進めてきました。

今回、枚方市のこれからの学校づくりの指針として「枚方市教育振興基本計画」の基本方針ごとに学校のあり方を示した「枚方市のめざす学校像」を教育委員会において作成します。

資料1「これからの学校づくりについて」をご覧ください。

資料1の図の中段に記載しています枚方市教育振興基本計画は、枚方市教育大綱を踏まえ、教育目標を「確かな学力と自立を育む教育」など、ご覧のとおり、1から10の基本方策を策定しています。

この基本方策10項目の内容から、新しい学校づくりの方向性を示すために必要な内容を抽出し、これからの枚方市における学校づくりの指針として「枚方市のめざす学校像」をまとめます。この枚方市のめざす学校像と枚方市学校整備計画と併せ、「高陵・中宮北小学校の統合による新しい学校づくり」としての考え方を作成し、新設校の設計に反映していきます。

次に、資料2「枚方市のめざす学校像（案）」の2ページをご覧ください。

序論でございます、「枚方市のめざす学校像」は、枚方市教育振興基本計画の基本方策10項目を基に、「1. 学校園運営体制について」から「19. 児童の放課後対策について」まで19項目の課題を掲げ、それぞれの項目ごとに「めざす学校像」と「主な取り組み」を整理したものです。

内容につきましては、後ほど、ご確認のほどお願いします。

案件資料の4ページにお戻りください。

次に「（2）高陵・中宮北小学校の統合による新しい学校づくり」につきまして、高陵小学校と中宮北小学校の統合に際しては、「枚方市のめざす学校像」に基づいた、これからの枚方市の新たな教育の推進モデルとなる「高陵・中宮北小学校の統合による新しい学校づくり」を作成します。

資料3「高陵小・中宮北小学校の統合による新しい学校づくりについて（素案）」をご覧ください。

先ほどご覧いただきました資料2の「枚方市のめざす学校像」や、その主な取り組みについて、両校の新しい学校づくりを進めるにあたり、枚方市学校整備計画と併せ、重視する主な観点を具体的にまとめたものとなります。

1ページをご覧ください。

本素案では、基本的な考え方として、SDGsの目標の中から持続可能な達成目標を掲げ、「枚方市のめざす学校像」を指針として、新しい学校づくりを推進するものです。

ここでは主に4つの項目に分けており、1ページの「1. 枚方版『ニュー・スマートスクール』の推進」として、「『1人1台タブレット活用』先進都市として、枚方版ICT教育モデルによる学力向上の取り組みとともに、ICTを活用した安全監視など子どもの安全対策を図る」としています。

2ページでは、「2. 一人ひとりの子どもを大切にする学校づくり」として、「『子どもを守る条例』の基本理念に則り、学校としての役割を十分に果たすための学校づくりを行うとともに、外国籍、障害、LGBT、感染症などすべての人権課題から子どもを守り、育てる学校づくりを行う。」とし、「（1）新しい生活様式に対応した学校」、「（2）『個』に応じた支援教育を進める学校」としています。

3ページでは、「3. 子どもの夢や志をはぐくむ学校づくり」として、「子どもの発達段階に応じて、目標をもって楽しく学べる学校づくりを行う」とし、「（1）安心と夢のある学校」、4ページでは、「（2）夢のある英語教育を進める学校」、「（3）多機能な学校図書館を設置する学校」としています。

最後に、5ページをご覧くださいまして、「4. 地域とともにある学校づくり」として、「地域防災や子育て支援、生涯学習の拠点として広く地域住民から活用されるような学校づくりを行う。」とし、「(1) 留守家庭児童会室機能に配慮した学校」、「(2) 防災拠点となる学校」、6ページでは「(3) 地域の活動拠点となる学校」としています。

なお、この資料3に掲載しております写真は、イメージとして文部科学省のホームページから引用したものです。

この「高陵小・中宮北小学校の統合による新しい学校づくりについて」の作成にあたっては、市議会や枚方市新しい学校づくり協議会、有識者等のご意見や助言をいただきながら進めてまいります。

案件資料にお戻りいただき、5ページをご覧ください。

「(3) 新しい学校名」につきまして、令和4年4月の統合に向け、両校区の児童や保護者をはじめ、地域住民や教職員などから新しい学校名を募集し、寄せられた提案については「枚方市新しい学校づくり協議会」で候補名を絞ったうえ、市で新しい学校名を選定し、市議会の議決を経て決定します。

なお、新しい学校名の募集期間につきましては、6月1日から30日の1か月間を予定しています。

次に、「(4) 新しい学校づくり協議会」につきまして、高陵小・中宮北小学校の統合にあたり、保護者、地域、学校及び教育委員会等で構成する「枚方市新しい学校づくり協議会」において、「学校施設、設備、備品等に関すること」や「通学路等安全・安心に関すること」、「地域・PTAに関すること」などの諸課題について、現在、協議連絡調整を行っております。

4月3日に第1回協議会を中宮北小学校で開催し、5月8日に第2回協議会を、中宮北小学校、高陵小学校、教育委員会の3か所に分けて、リモート会議としました。

案件は「新しい通学路について」や「新しい学校名について」、「児童の交流事業について」などを協議しました。次回、第3回協議会の開催をリモートで6月5日に予定しております。

次に、6ページをご覧ください。

「3. 実施時期等(予定)」について、令和3年6月には、1日から新しい学校名の募集を開始し、中宮北小学校において仮設校舎の設計を開始します。また「枚方市のめざす学校像」を教育委員会定例会において提案します。

7月に有識者による「高陵・中宮北小学校の統合による新しい学校づくりについて」(案)の意見聴取を行います。

8月には、教育・子育て委員協議会に前述の「新しい学校づくり(方針)(案)」や学校名及び、今後の取り組み予定を報告いたします。

9月の定例月議会で、「枚方市立小学校及び中学校設置条例」の改正案を提案します。

9月以降には、新校舎の設計委託発注を行う考えでございます。また、教育子育て委員協議会に取り組み状況を報告します。

11月に中宮北小学校において仮設校舎建設工事を開始します。

令和4年4月に中宮北小学校に仮設校舎を増設して、統合校を開校します。

令和8年度に、新校舎を高陵小学校敷地に新校舎が完成し、移転となります。

「4. 総合計画等における根拠・位置付け」、「5. 関係法令・条例等」、「6. 事業費・財源及びコスト」につきましては、記載のとおりでございます。

以上、「新しい学校づくりについて」の説明とさせていただきます。よろしく願いいたします。

○奈良教育長 この件についてご意見、ご質問等ありますか。

谷元委員。

○谷元委員 「新しい学校づくりについて」は、これまでも教育政策会議や意見交換会等において、質問や意見をさせていただきましたが、本日は、資料について2点ほど質問させていただきたいと考えています。

資料2の15ページ、「13. 学校園・家庭・地域の連携について」には、「学校運営に地域住民や保護者が参画する学校」とあり、「小学校においては、コミュニティ・スクールとして、地域とともにある学校づくりを推進する」とあるんですけれども、枚方市では、小学校45校全てに学校運営協議会をすでに設置したかと思いますが、中学校にも設置を予定しているのか教えてください。

○奈良教育長 嶋田学校教育室課長

○嶋田学校教育室課長 本市では、令和2年度8月をもって、全45校区に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとなりました。今後、小学校におけるコミュニティ・スクールについて、地域とともにある学校づくりの充実を図るとともに、効果を十分検証した上で、中学校におけるコミュニティ・スクールの設置について、関係部局とも協議し、検討を行いたいと考えております。

○奈良教育長 ほかにご意見、ご質問等はありませんか。

谷元委員。

○谷元委員 資料3の1ページ、「1. 枚方版『ニュースマートスクール』の推進」に、「ICTを活用した安全監視など子どもの安全対策を図る」とありますが、学校内に防犯カメラ等の設置は考えておられるのでしょうか。

○奈良教育長 畑中新しい学校推進室課長。

○畑中新しい学校推進室課長 新しい学校では、学校への不審者の侵入防止のため、ICTを活用した認証システムを導入する等、校門の適正管理や来校者の受付確認を実施したいと考えております。

なお、防犯カメラの設置につきましては、他市の事例を研究するとともに、新しい学校づくり協議会において協議しながら検討していく考えでございます。

○谷元委員 「枚方市の目指す学校（案）」については、本論の「1. 学校園運営体制について」をはじめ、19の目指す学校像と主な取り組みについて、また、具体的な整備事例についても細かく説明されており、わかりやすい内容にまとめられていると思います。

学校運営協議会については、小学校における学校運営協議会の効果が見られるのであれば、今後、中学校においても設置に向けて取り組んでいただければと思います。

学校内の防犯カメラについては、顔認証やICTタグとともに、安全対策の一つであると思われるので、新しい学校づくり協議会で協議していただくようお願いいたします。

○奈良教育長 ほかにご意見、ご質問等はありませんか。

本件に対するご意見、ご質問は、この程度にとどめます。

続きまして、案件3について説明をお願いします。

中道中央図書館長。

○中道中央図書館長 それでは、案件3「第4次枚方市子ども読書活動推進計画について」、ご説明いたします。

資料をご覧ください。

「1. 政策等の背景・目的及び効果」ですが、子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。子どもたちがあらゆる機会と場所において自主的に読書活動を行うことができる環境の整備を一層推進するため、子どもの読書活動の推進に関する法律第9条第2項に基づき、また、国・大阪府の子ども読書の推進に係る計画、枚方市立図書館第4次グランドビジョン等を踏まえ、令和4年3月に計画期間の終期を迎える第3次に続く第4次枚方市子ども読書活動推進計画の策定を進めるものです。

次に、「2. 内容」ですが、第3次計画では、経済格差や障害の有無にかかわらず「すべての子どもたちに読書の楽しみを」の考え方に基づき、乳幼児期から学齢期、ヤングアダルト期に至る各発達段階の読書活動や、障害等のある子どもの読書活動の推進、市民との協働や職員の人材育成などを主な取組として推進してきました。

また、ICT技術が急激に発展し、グローバル社会がさらに進展している現在、我が国がこれからも発展を続けるためには、これからの時代を担う子どもたちが、AIを活用し物事を処理するというだけでなく、AIには難しいとされる読解力、コミュニケーション能力や、国内外での活躍に求められる能力を養うことが必要です。これらのことから、協調性や主体性、規範意識や共感性、自己肯定感や探求心などの能力も含めた「生きる力」を育成していかなければなりません。

「第4次 枚方市子ども読書活動推進計画」においては、第3次計画の成果と課題とともに、読書を通じた子どもの生きる力の育成や、全ての児童生徒に配備したタブレット端末の活用を図っていく観点から、子どもの発達段階や生活の場に応じた、新たな読書活動のあり方や具体的な取り組みなどについて、まとめる予定です。

第3次計画の主な成果と課題についてですが、第3次計画でお示しした3つの課題のうちの「①読書をとおして生きる力を育成」に関して、「a. 成果」としては、市立図書館における蔵書や各種行事の充実、読書ボランティアの育成、学校図書館における蔵書や学校司書、学校図書館を活用した調べ学習授業の充実などがあげられます。

「b. 課題」としては、第3次計画の取り組みとして、子どもの生きる力の育成に影響を与える「家読」や「保護者による読み聞かせ」などへの動機づけとなる、家庭での読書活動推進に向けての取り組みの部分が弱かったと認識しております。

次の課題、「②読書のバリアフリー」に関しては、「a. 成果」については、多様な形態の図書館資料の充実、手話で楽しむお話会・バリアフリー絵本展などのバリアフリー行事や、地域や小学校でのお話会の実施などのアウトリーチ事業の実施があげられます。

「b. 課題」としては、子どもの図書館利用の促進を図らねばならないと考えております。三つ目の課題の「子どもに本を届けるための推進体制」についてですが、「a. 成果」と

しては、子どもに本を届ける基金を活用した蔵書の充実と読書ボランティアの育成があげられます。

「b. 課題」としては、図書館スタッフのさらなる人材の確保及び育成を図り、これまで以上に子どもの読書環境を充実し、子どもに本が届けられるできる体制を作っていかなければならないと考えております。

次に、第4次 枚方市子ども読書活動推進計画の基本的な方向性については、第4次グランドビジョンの基本的な方向性を踏まえ、「①コロナ禍以降の新しい生活様式に対応した、児童生徒に配布したタブレット端末の活用を含む、子ども読書活動の展開」、「②保育所・学校園との連携や保護者との協働による、子どもの発達段階や生活の場（家庭・学校・地域）を踏まえた、これからの社会を生き抜く『生きる力』のさらなる育成」、「③多様な読書のバリエーションのさらなる推進」の以上3つの方向性を示し、内容の具体化を進めてまいります。

次に「3. 対象及び実施期間」ですが、計画の対象者としては、子どもの読書活動の推進に関する法律に基づき、おおむね18歳以下の子どもを対象とします。

実施期間については、令和4年度から令和8年度の5年間を計画期間とします。

次に「4. 策定の進め方」についてですが、市議会、教育委員会、社会教育委員会議からのご意見やパブリックコメントの結果を踏まえて策定作業を進め、策定は令和3年度末を予定しております。

市民アンケートは、市立保育所、幼稚園、小学校、中学校に通う子どもとその保護者を対象に行い、読書に関する傾向等を把握する予定です。

次に「5. スケジュール（予定）」ですが、令和3年5月に教育委員会及び教育子育て委員協議会にて計画の策定を報告します。

6月から7月にかけて、子どもとその保護者への子ども読書活動に係るアンケートを実施します。

その後10月に、社会教育委員会議からのご意見を聴取し、それらの結果も踏まえ、同じく10月に教育委員会に、11月には教育子育て委員協議会に計画素案について報告いたします。

12月には計画素案についてのパブリックコメントを実施し、その結果を踏まえて必要な修正等を行った後、令和4年1月には教育委員会に、2月には教育子育て委員協議会に計画案について報告し、3月に第4次枚方市子ども読書活動推進計画を策定、公表する予定でございます。

また、本会議の後、庁内委員会及び幹事会で関係各部署からご意見をいただきながら、計画策定を進めていきます。

その他、「6. 総合計画における根拠・位置づけ」、「7. 関係法令・条例等」、「8. 事業費・財源及びコスト」については記載のとおりです。

「第4次枚方市子ども読書活動推進計画について」のご説明は以上でございます。

○奈良教育長 この件についてご意見、ご質問等ありますか。

橋野委員。

○橋野委員 昨年度中にタブレット端末が一人一台配備され、子どもたちが活用できるようになりました。「2. 内容」にも記載していただいている、そのタブレットの活用についてですが、どのような活用になるのでしょうか。

○奈良教育長 中道中央図書館長。

○中道中央図書館長 電子書籍を7月に導入する予定で、現在、作業を進めております。タブレットやスマートフォン、パソコンなど、インターネット環境のあるところから、電子書籍を閲覧することができます。児童・生徒も家庭や学校など、それぞれの生活の場で、読んだり、調べたりすることが可能になります。

○奈良教育長 橋野委員。

○橋野委員 次に、策定の進め方の中でご意見を聞くのは、市議会、教育委員会、社会教育委員会、パブリックコメント、また、保護者を対象にされた市民アンケートとのことですが、それ以外の、子どもの読書に関わる方から意見は聞かないのでしょうか。

○奈良教育長 中道中央図書館長。

○中道中央図書館長 読書に携わる、読書ボランティアの方々等も含め、広くご意見を伺いたいと考えております。

○奈良教育長 ほかにご意見、ご質問等はありませんか。

橋野委員。

○橋野委員 第3次の課題の中で、「図書館スタッフのさらなる人材の確保及び育成」とありますが、現在の状況を教えてください。

○奈良教育長 中道中央図書館長。

○中道中央図書館長 人材の確保の関係ですけれども、現在の中央図書館につきましては、市職員全体の年齢構成と比較いたしましても、50歳代以上が大半を占める等、さらに高齢化が進んでいる状態でございます。40代の中堅や、それ以下の若い職員が少なく、ノウハウの継承等が課題となっております。また、育成につきましては、ストーリーテリングや絵本の読み聞かせ、絵本の選び方など、児童サービス関係の研修をしながら、職員としての資質を高めていきたいと考えています。

○奈良教育長 橋野委員。

○橋野委員 子どもたちがたくさん本を読んで、資料に書かれている、AIには難しいとされる読解力やコミュニケーション能力が養えるものとしていただきますようお願いして、要望とさせていただきます。

○奈良教育長 ほかにご意見、ご質問等はありませんか。

本件に対するご意見、ご質問は、この程度にとどめます。

続きまして、案件4について説明をお願いします。

松下公立保育幼稚園課長。

○松下公立保育幼稚園課長 それでは、案件「幼稚園給食のモデル実施について」、資料に沿ってご説明いたします。

資料の14ページをご覧ください。

「1. 政策等の背景・目的及び効果」でございますが、公立幼稚園では、保護者のニーズに応えるため、平成31年4月から公立幼稚園6園において3歳児保育を実施するとともに、就労を希望する保護者への対応といたしまして、預かり保育を7時から19時までに拡充いたしました。また、公立幼稚園のうち、枚方・高陵・蹉跎・田口山の4園につきましては、待機児童対策の一環として、幼稚園の敷地内で1、2歳児の保育を行う小規模保育事業を実施し、

「枚方版子ども園」として運営しています。

このような中、主に就労されている保護者の皆さまから、お弁当の持参が負担であることから、幼稚園ではなく、給食提供のある保育所を選択したいという声が寄せられていることを踏まえまして、仕事と子育ての両立支援の一環として、また小規模保育施設から公立幼稚園へ切れ目のない保育・教育を提供するため、幼稚園給食をモデル的に実施するものでございます。

15ページをご覧ください。

「2. 内容」のうち、「(1) モデル実施園の選定について」でございますが、小規模保育施設で実施している給食のノウハウが最大限に活用できるよう、枚方版子ども園の中から、枚方幼稚園と田口山幼稚園をモデル園として選定いたします。

「(2) 実施方法」でございますが、(ア) としまして、幼稚園給食につきましては、保護者の方から、お弁当の持参を望む声も根強くありますことから、「選択制」として実施いたします。

(イ) としまして、近隣の公立保育所において調理した給食を、公立幼稚園に搬送いたします。

(ウ) としまして、給食を選択する園児と、お弁当を持参する園児と一緒に給食を食べることから、給食をお弁当箱に似た形状の、蓋付きランチプレートに入れて提供いたします。

(エ) としまして、給食の配膳準備の計画や、アレルギーへの対応のため、希望できるのは1か月単位とし、食数の上限は各園35食といたします。

16ページをご覧ください。

「(3) 利用料」でございますが、1か月につき4千5百円をご負担いただきます。

「3. 実施時期等」でございますが、枚方・田口山の両園で、本年10月からモデル実施をした後に、残りの4園につきましては、今回のモデル実施により明らかになりました課題を検証した上で、施設の改修等、必要な条件整備を図ったうえで、順次、実施してまいりたいと考えています。

17ページをご覧ください。

「4. 総合計画等における根拠・位置付け」、及び「5. 関係法令・条例等」につきましては記載のとおりでございます。

最後に「6. 事業費・財源及びコスト」でございますが、令和3年度の事業費としまして、調理補助員2名の半年分に係る人件費として115万円、また、運営に係る諸経費といたしまして、保管庫や食器、食缶等の購入費など539万円を、いずれも令和3年度当初予算にて措置済みでございます。

「財源」につきましては、記載のとおりでございます。

以上、「幼稚園給食のモデル実施について」の説明でございます。よろしくお願いたします。

○奈良教育長 この件についてご意見、ご質問等ありますか。

谷元委員。

○谷元委員 枚方幼稚園と田口山幼稚園をモデル園として選定した理由と食数の上限を各園35食とした理由について教えてください。

○奈良教育長 松下公立保育幼稚園課長。

○松下公立保育幼稚園課長 モデル園の選定につきましては、食器を収納するための棚を設置するスペースや、給食を盛り付けるための配膳室の広さなどから、工事等を行わず、現在のままで配膳室が使用できる2園をモデル園として選定いたしました。

また、食数に関しましては、給食を調理するための保育所内の調理室の広さや人員体制、また搬送するための自動車内のスペース等を考慮しますと、各施設35食が上限であると考えています。

なお、この度の幼稚園給食事業は就労支援を目的に実施するものでございますが、現在、各幼稚園で行っております就労支援を目的とした預かり保育につきましても35人を上限としており、35食という数は、両親ともに働かれている、いわゆる新2号認定の園児の皆さん全員が、選択されたとしても対応できる食数となっております。

○奈良教育長 谷元委員。

○谷元委員 意見ですけれども、今回の幼稚園給食のモデル実施については、保護者のニーズに応えるため、主に就労されている保護者支援として、2つの園でモデル実施されることですが、就労されている保護者の皆さんは、大変、喜ばれることかと思えます。仕事と子育ての両立支援の一環として、また、小規模保育施設から公立幼稚園への切れ目のない保育を提供するためには、就労されている保護者支援だけでなく、給食を希望するすべての保護者にも提供する必要があるのではないかと考えています。「3. 開始時期等」を見ると、「モデル実施により明らかになった課題を検証した上で、必要な施設改修等を行い、順次、実施します」とありますが、給食を希望する保護者のニーズにも今後応えていただければありがたいと思います。

幼稚園におけるモデル実施は、他市でもあまり例のない取り組みになっているかと思えます。これからも、保護者のニーズをしっかりと把握していただき、そのニーズに応えていただきますようお願いいたします。

○奈良教育長 他にご意見、ご質問等はありませんか。

本件に対するご意見、ご質問は、この程度にとどめます。

以降の協議会は非公開となりますので、傍聴の方は退席してください。

《 非 公 開 案 件 》

○奈良教育長 本日の協議会の案件は以上となりますので、協議会を終了します。